

公立高等学校配置計画（平成28年度～30年度）の概要

1 平成28年度～29年度（平成26年度決定）高校配置計画の変更について（※計画案のとおり）

課程	区 分	学 校 名	計 画 変 更 の 内 容
全 日 制	学 級 増 + 5	砂 川 + 1 森 + 1 広 尾 + 1 標 茶 + 1 根 室 + 1	○平成27年度の入学者選抜の結果、学級減を行った9校のうち5校について、中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成28年度にそれぞれ1学級増
	移 管	奥 尻	○奥尻町からの要望などを考慮し、平成28年度に奥尻高校を道から奥尻町に移管
	地域キャンパス校の導入	長 万 部 (センター校：八雲)	○今後の中卒者数の状況などを考慮し、平成28年度に新たに地域キャンパス校化
定 時 制	再編整備等	函 館 工 業	○平成29年度の1学級減について、機械科と電気科を電子機械科に学科再編 (H26計画では減とする学科は検討中と表記)

2 平成30年度の高校配置計画について（※計画案のとおり）

課程	区 分	学 校 名	主 な 計 画 の 内 容																								
全 日 制	学 級 減 ▲10	※ 滝 川 西 ▲1 札幌 南 陵 ▲1 札幌 厚 別 ▲1 石 狩 南 ▲1 ※市立函館 ▲2 旭 川 北 ▲1 旭 川 工 業 ▲1 帯 広 三 条 ▲1 釧 路 江 南 ▲1	○各学区ごとに、中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを総合的に勘案し、学級減 道立 7校 ▲7学級 市町村立 2校 ▲3学級																								
	再編整備等 ▲11 +10	小 樽 市 内 留 萌 市 内	○市内に複数校が設置され、中卒者数の減少により望ましい学校規模の維持が困難と見込まれるため、生徒の学習環境の充実を図る観点から再編 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">募集停止</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">新設校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 樽 商 業 ▲2</td> <td></td> <td>(学科検討中)</td> <td>+ 4</td> </tr> <tr> <td>小 樽 工 業 ▲3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>留 萌 ▲4</td> <td></td> <td>普通科(単位制)</td> <td>+ 4</td> </tr> <tr> <td>留 萌 千 望 ▲2</td> <td></td> <td>電気・建築科</td> <td>+ 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>情報ビジネス科</td> <td>+ 1</td> </tr> </tbody> </table>	募集停止		新設校		小 樽 商 業 ▲2		(学科検討中)	+ 4	小 樽 工 業 ▲3				留 萌 ▲4		普通科(単位制)	+ 4	留 萌 千 望 ▲2		電気・建築科	+ 1			情報ビジネス科	+ 1
	募集停止		新設校																								
小 樽 商 業 ▲2		(学科検討中)	+ 4																								
小 樽 工 業 ▲3																											
留 萌 ▲4		普通科(単位制)	+ 4																								
留 萌 千 望 ▲2		電気・建築科	+ 1																								
		情報ビジネス科	+ 1																								
単位制の導入	新 設 校 (留萌市内)	○生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、留萌市内の新設校の普通科に単位制を導入																									

（学校名の※は、市町村立高校）

3 計画案で検討中であった学科の決定について

学 校 名	課 程	年 度	内 容
旭川工業	全日制	30	自動車科を学級減することを明示

- ・参考 平成28年度の高等専門学校定員について、40人減（【計画案】760人→【計画】720人）
- 平成28年度の私立高校定員について、75人減（【計画案】11,875人→【計画】11,800人）